

議会運営委員会の視察 ～新潟市・阿賀野市～

11月6日7日、議会運営委員会の視察に行きました。
行先は新潟県の新潟市&阿賀野市、内容は議会改革の取り組みです。

■議会報告会は自治会と協力して ～新潟県阿賀野市～

1日目は阿賀野市。H16年に4町村が合併した、新潟市の東に位置する市です。阿賀野市では主に、議会報告会の話を知りました。議員個人や政党などでなく、議会としての報告会。実施する自治体が増加しており伊丹でも検討中です。ただ伊丹では具体的なイメージが掴めていない面もあることから、実際の様子を知りました。

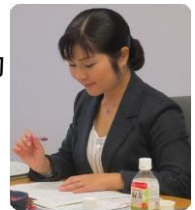


阿賀野市ではH24年5月から、定例会後に毎回開催しており、1回につき議員を4班に分け4会場で実施とのこと。興味深かったのは自治会の協力を得ている事です。参加者の減少と固定化が顕著になってきたことから、各自治会での広報や開催などを取り入れ、参加者の拡大を図っているとのことでした。

議会報告会は自治体の特徴などを踏まえオリジナリティを加えて工夫すべきと改めて実感しました。もし伊丹で実施するとなれば、伊丹にあった報告会のあり方を工夫したいものです。

■規模が大きい市議会 ～新潟市～

2日目は新潟市。人口約80万人で、本州日本海側で唯一の政令指定都市です。新潟市では、議会基本条例の制定をはじめ議会改革全般について話を伺ったのですが、印象に残ったのは議会基本条例制定のくだり。議論の段階で離脱した会派があり、最終的な採決は賛成:41名、反対:11名、棄権:2名だったとのこと。これまで見聞した議会では、全会一致で制定したところが多かったの、「こういうパターンもあるのか」と新鮮でした。



新潟市議会は議員が56名おられ、28名の伊丹市議会よりとにかく規模が大きい。議会改革が諸事進んでいる新潟市議会に大いに学ばせていただいた一方で、伊丹市議会は規模が小さい分フレキシブルで丁寧な議論が可能なのかもしれないと改めて感じました。伊丹の良さを再認識して活かしていきたいものです。

■議員の意識改革に有意義

このように各議会の議会改革を視察しているわけですが、こういった視察は「議員の意識改革に有意義」と実感しているところです。私は議会改革について、①住民に開かれた分かりやすい議会にする ②議論が尽くせる仕組みが整った議会にする、という意義から、基本的に進めるべきと考えています。

ただ、議員間で温度差があるのも事実。委員会で他市の議会改革を見聞することは、机上で考えるよりはるかに意識の中に何かを芽生えさせるものであり、そういう意味で議会改革の視察は意義があると感じているところです。今後も議会改革を進め、よりよい伊丹づくりに尽力したいと思っています。

あとがき

●先日、空襲で障がいを負われた80代の男性にお話を伺う機会がありました。13歳の時に、空襲で足に爆弾を受けてしまわれたそうです。戦後、国から何の補償もないことについてご意見を拝聴しました。東京空襲訴訟や大阪空襲訴訟などとして裁判も行われているのですが現在のところ敗訴しており、大阪空襲訴訟は最高裁の段階だそうです。「難しい状況だが、つらい想いを抱えてきた事実を1人でも多くの人に知ってもらいたい」との言葉に胸が痛みました。これまでの様々なご苦勞をお聞かせくださり、貴重な話を伺うことができたことと感謝しています。戦争被害者が高齢になる中、語り継いでいかねばとの想いを新たにしました。(佐和子記)

～情報はここから～

- ★ホームページ <http://sawako-aizaki.com>
- ★ブログ <http://yaplog.jp/sawako-aizaki/> 毎日更新中!
- ★ホームページ(携帯版) 右記のQRコードから
- ★ツイッター <http://twitter.com/#!/aizakisawako>
- ★活動ニュース バックナンバーは上記HPに。郵送希望はご連絡を
- ★フェイスブック ★ミクシィ



相崎佐和子

検索

～出前トーク～

皆様のお声を伺ったり、意見交換をしたりする「出前トーク」を実施中です。「2～3人のお喋り」「ミニ集会」など、テーマや形式は問いません。いつでもどこでも参ります。お気軽に下記までご連絡を!

相崎佐和子 プロフィール

- 1973年生 ●親和女子高校 ●奈良教育大学 ● // 大学院(政治学)
- フリーアナウンサー ●地元ケーブルテレビ(現:ペイコム)アナウンサー
- 第12代兵庫県広報専門員 ●伊丹市公民館事業推進委員会事務局長
- 伊丹市議会議員(現在2期目) ○家族: 夫・長女(小2)・次女(4歳)

発行元: 相崎佐和子

連絡先: 〒664-8503伊丹市千僧1-1
伊丹市議会内

電話: (090) 8528-3870

メール: sawako-aizaki@hcc6.bai.ne.jp